

## 3月11日朝会の校長の話(概要)

今日は3月11日。今から13年前14時46分。東日本大震災が発生し、その後の津波などの被害で、2万2千人あまりの命が失われました。世界では死んでしまわれた方の魂を慰めるために様々な祈りを行いますが、日本では「黙とう」と言って黙って頭を下げて、祈りを捧げる文化があります。始めと止めの合図の間は黙っているのがマナーです。その間は心の中で考えることに決まりはありませんが、犠牲となった命に対して、心穏やかに魂が休まるように祈ります。その他には、亡くなられた命に対して自分ができること、例えば、その犠牲を無駄にしないために、「自分はどうか生きていくのか」とか「与えられた時間をどう使っていくのか」など自由に思い描きます。最後に今日いただいている命に感謝の気持ちをもちます。では、始めます。「黙とう！」(1分程度)「やめ」。谷中小学校では、犠牲となった命に対して「できること」の一つとして「結びの旗プロジェクト」に参加しています。昨年と今年で震災のあった大船渡市の小学校と一緒に大漁旗を作っています。こうした活動が続けることで震災の被害を忘れないとか今ある命を大切に生きていきたいという気持ちを3月のたびに思い起こすことが大切です。今日は、旗を挙げることでその気持ちを高めましょう。

